

学校法人京都成安学園 令和2年度 事業計画

■ 建学の精神・ミッション、学園の目指すべき将来像

学校法人京都成安学園は、大正9年、創設者である瀬尾チカが成安裁縫学校設立を京都府知事から認可されたときに始まります。「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新シキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併セテ自活学習ノ便ヲ与ヘ兼ネテ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と当時の校則に謳われているように、婦人が自活できる能力を身につけさせることが学校設立の目的であり、婦人の社会的・経済的地位を向上させようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカの体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでありました。

京都成安学園の建学の精神は、成安裁縫学校を創設するに際して校名に使用し、以来今日までに設置した幼稚園から大学まで全ての学校の名前に使用した「成安」という言葉です。

1 京都成安学園 建学の精神 「成安」

京都成安学園 建学の精神、その由来は「成安」の名にこそある。

「成」とは、成し遂げること。「安」とは、安寧であること。つまり「成安」とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。

2 京都成安学園 校訓—学祖のことば 「誠と熱」

「誠と熱」とは、学祖・瀬尾チカが強い信念と行動力で人生を切り拓いた自らへの証であると同時に、真摯さを失わず、弱者への想いを抱き続けるという誓いの言葉である。

さらにこの言葉は、成安に集う者たちの心をひとつにする学園の訓でありながら、それぞれの人生の長きを、正しく強く生きぬく力を授けてくれる。そしてその力こそが、学園のみならず広く社会を豊かにするのだと。

3 京都成安学園の目指す将来像

京都成安学園は、建学の精神や学園設立の精神から導かれる「実学教育」「ものづくりの教育」を中心とした学校運営を行い、教育・研究・社会貢献のいずれの分野においてもトップレベルの質を維持し、名門と呼ばれるに相応しい学園を目指します。

I 学校法人京都成安学園

学校法人京都成安学園は、令和2年に創立100周年を迎えました。大正9年の創立から100年、社会のグローバル化、情報化が高度に進展する中、我が国はかつて経験したことのない人口減少という局面を迎えています。学祖が目指した女性の社会的・経済的地位の向上という学校設立の目的は、この100年の時間の流れの中で、先行きの不透明な社会を生き抜く力を身に着けさせることを目指すという目的に変容してきています。

こうした状況を踏まえ、本法人では令和元年5月、令和元年度から令和10年度までの中長期経営計

画「学園創立 100 周年からの新たなチャレンジ」を策定しました。この中長期経営計画では、大学における教育・研究・社会貢献活動等、幼稚園における保育・教育活動等の質の向上と地域社会との連携の強化を図ること、また、学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業・幼稚園開園 90 周年記念事業と連動した教育・保育環境の整備を主要事業として位置付けています。

一方、本法人の財務状況は、将来を見据えた積極的な事業の実施を検討できるまでに回復してきているものの単年度の収支状況には厳しいものがあり、財務基盤は依然として脆弱性を克服できていません。そのため、学校法人と設置校を健全に経営するには中長期経営計画に基づき積極的に事業を展開し、魅力ある学校づくりをとおして学生・園児の安定確保を図ることと合わせて、これまで組織的な取り組みが弱かった収益事業を積極的に展開することで経常収入の増加と収入源泉の多様化・多角化を図り、財務基盤を強化することが必要です。

このようなことを踏まえ、学校法人として次のとおり令和 2 年度事業計画を取りまとめました。

【事業計画】

1 財務基盤の強化に向けた収益事業の展開

成安アカデミー（令和 3 年 4 月 1 日開設予定）開設に向けた準備作業を行います。当面は、チャモロジービジネス学科のみを設置する予定です。

なお、収益事業の開始に向けて、寄附行為に収益事業を規定するための変更を行います。

2 公共性を高める自律的なガバナンスの確保

日本私立大学協会が取りまとめた「日本私立大学協会憲章 私立大学版ガバナンスコード」や私立学校法など法令に基づいて、学校法人のガバナンスの確保に係る取り組みを推進します。

3 コンプライアンスの徹底を促すための取り組みの強化

本法人のすべての構成員に対してコンプライアンスの徹底を求めるとともに、それを促進するための取り組みを強化します。

4 学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業の実施

(1) 施設整備事業

大学におけるクリエイティブキャンパス計画（新棟建設事業等含む）と幼稚園における遊戯棟等建替事業を中核事業とする学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業を実施します。

(2) 記念デビットカードの発行

株式会社滋賀銀行との共同事業として、令和 2 年 4 月 1 日から学校法人京都成安学園創立 100 周年記念デビットカードを発行します。

(3) 学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業寄付金の募集

令和 2 年 4 月 2 日から令和 3 年 3 月 31 日までの間、学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業に充当するため、学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業寄付金を募集します。

(4) 学校法人京都成安学園創立 100 周年記念誌の発行

学校法人京都成安学園創立 100 周年を記念して、学祖 瀬尾チカの足跡を記した記念誌を発行します。

(5) 学校法人京都成安学園創立 100 周年記念式典・レセプション

びわ湖大津プリンスホテルにて、令和 2 年 11 月 3 日（火・祝）に開催します。

5 理事会の開催

- (1) 第 180 回 理事会 令和 2 年 5 月 30 日 (土)
- (2) 第 181 回 理事会 令和 2 年 6 月 30 日 (火)
- (3) 第 182 回 理事会 令和 2 年 8 月 6 日 (木)
- (4) 第 183 回 理事会 令和 2 年 10 月 2 日 (金)
- (5) 第 184 回 理事会 令和 2 年 10 月 30 日 (金)
- (6) 第 185 回 理事会 令和 2 年 12 月 5 日 (土)
- (7) 第 186 回 理事会 令和 2 年 12 月 5 日 (土)
- (8) 第 187 回 理事会 令和 2 年 12 月 22 日 (火)
- (9) 第 188 回 理事会 令和 3 年 2 月 6 日 (土)
- (10) 第 189 回 理事会 令和 3 年 3 月 5 日 (金)
- (11) 第 190 回 理事会 令和 3 年 3 月 27 日 (土)
- (12) 第 191 回 理事会 令和 3 年 3 月 27 日 (土)

6 評議員会の開催

- (1) 第 37 回 評議員会 令和 2 年 5 月 30 日 (土)
- (2) 第 38 回 評議員会 令和 2 年 12 月 5 日 (土)
- (3) 第 39 回 評議員会 令和 3 年 3 月 27 日 (土)

7 監査会の開催

令和 2 年 5 月 28 日 (木)

8 学園報の発行

令和 2 年 9 月、京都成安学園 学園報『SEIAN』VOL.8 を、「学校法人京都成安学園創立 100 周年記念特集号」として発行します。

II 成安造形大学

【1】基本理念（教育理念）等

1 成安造形大学の基本理念（教育理念）「芸術による社会への貢献」

私たち成安造形大学は、芸術分野における真摯な教育と研究を通して広く社会に貢献する。独自の実践的学士課程教育によって、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材を輩出する。そして、誇るべき永い伝統を全員が胸に抱き、新しき名門を目指す。

私たちは今、自らの文化や精神性を改めて深く認識し、それらをしっかり引き継ぐことを真剣に考えねばならない時代にある。芸術の果たす役割もますます大きくなっていくに違いない。その中で私たちは、芸術大学の今日的意義を模索し、あるべき姿を追い求める。そして、新たな芸術観の確立に向けて研鑽を重ね、公正なまなざしで自らの社会性を高め、創造性豊かな提案を続けていく。

私たちは、学びのクオリティーにこだわる。総合性と専門性を両立しうる高度なカリキュラムを準備するとともに、和気藹々と心地よく学べるゆきとどいた教育環境を整える。学生一人ひとりの個性としっかり向き合い、持てる力を大きく引き出す少人数教育を行う。

私たちは、造形にもとづく叡知を開く。ものをかたちづくるその過程において、多くを学び、心が生き生きする出会いの瞬間を見いだす。自然や素材と交わる経験を通して、学生たちが感性を大きく伸ばせる実践教育を行う。

私たちは、決して揺るがない。自らの芸術を実現し、高く成し遂げるための信念において揺るがない。なぜなら、本学には校訓「誠と熱」が脈々と息づいているからである。私たちは、私たちの起源であるその盤石の精神を継承し、さらに発展させ、学生たちに伝えていく。

私たちは、この場所から始めていく。この場所から生み出していく。学生たちとともに、多くの人々との交流と連携を進め、芸術の力で地域を活性化させる。そして私たちは、美しい湖国唯一の芸術大学であるという自負を携え、その熱き鼓動を世界に向けて響かせる。

2 大学の目的と学部・学科の人材育成目的

大学の目的

成安造形大学は、デザイン及び美術に関する学術の中心として、広く知識を授けると共に、深く専門の理論、技能及びその応用を教授研究し、人格の完成を図り、国際性に富み、個性豊かな教養の高い人材を育成し、もって文化の創造・発展、産業の発展、国家社会の福祉に寄与することを目的とする。（学則第1条）

学部・学科の人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という基本理念（教育理念）の下、「誠と熱」を持ち、公正さと創造性を兼ね備える、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材の育成を目的とする。（学則第2条の2）

3 大学の3つのポリシー

(1) アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

芸術を学びたいという意欲と熱意のある人

学びたい専門分野がある、実践したい制作（研究）テーマがあるなど、芸術をとおして将来の夢をかなえようとする学生。

芸術を学ぶために必要な感性のある人

豊かな感性と自由な発想力を持ち、成安造形大学でさらにそれを高めようとする学生。

成安造形大学の基本理念「芸術による社会への貢献」に共感できる人

専門分野をいかし、社会や地域と連携した実践的な学びの中で、生きるチカラを養い、自分の可能性を磨こうとする学生。

成安造形大学の教育システムを理解し活用できる人

本学独自の教育システムである成安パーソナルプログラム（SPP）をいかしながら、学んでいこうとする学生。

(2) ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

成安造形大学 教育目標（学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針）

①知識・理解（認知的領域）

- (1) 芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
- (2) 芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
- (3) 多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。

②技能（精神運動的領域）

- (1) 日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
- (2) 情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
- (3) 専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
- (4) 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。

③態度・志向性（情動的領域）

- (1) 自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
- (2) 他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- (3) 卒業後も自らを律して学習できる。
- (4) 自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
- (5) 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。

④創造性（総合的・実践的領域）

- (1) 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
- (2) 専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

(3) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

- 1 学修の順次性を明確にし、総合的な造形的基礎と高度な専門性を養成する。
- 2 導入教育を充実させて社会人として必要な基礎力と対課題能力を養成し、それぞれが学ぶ専門分野と有機的にむすびついた高度な社会実践力を確立する。

この教育方針の下に芸術学部芸術学科の教育課程は、1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》に分けます。また、各科目を「学部共通科目」と「専門科目」で編成します。

「学部共通科目」では、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としています。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、所属する領域に関係なく、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されています。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を習得するための芸術応用科目を提供します。

「教養科目群」には多様な知識・教養を学ぶことにより、多角的な視野や豊かな知性、柔軟な思考力を身につけ、各学生が幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけることにより、グローバルな視点に基づく思考力や創造力を獲得するための外国語科目があります。また、大学コンソーシアム京都や環びわ湖大学連携による単位互換協定を締結した滋賀県、京都府の大学、短大の科目を受講することもできます。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群です。地域貢献・プロジェクト科目は、「芸術による社会への貢献」を実現する科目として「芸術力」要請をもとに実践的な知識・技術を活用し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力に優れた社会の即戦力となる人材育成を目的としています。また、キャリアデザイン科目は、キャリア形成を考えるうえで前提となる「自己分析・自己発見」「社会を知る」ということを段階的に学ぶことにより、学生が各々の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目です。

「専門科目」では、それぞれに「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つを段階で履修します。「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための必要不可欠な実習科目、演習科目を、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで、各自の専門性を深く究めてもらうための実習科目と演習科目を、「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修のもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自の専門性を深く究めてもらうための研究科目、卒業制作を設置しています。

【2】事業計画

近年、社会環境は大きく変化しています。人口の減少に伴い、生産年齢人口も急減しており、グローバル化や超スマート社会、SDGs など、これまでの工業化社会から知識基盤社会へと変わりつつあります。このような変化が激しい予測不可能な社会においては、主体的、能動的に生涯学び続けられる人材が必要とされており、高等教育に対して、そういった人材の育成への期待が高まっています。このような社会的な要請の高まりから、高等教育を取り巻く環境も激変しており、高等教育の無償化や高大接続改革など、国策が次々と打ち出されています。そのため、これまでの比較的閉鎖的で守られた環境から、内部質保証における第三者評価の受審や情報公開による説明責任など、より一層の透明性が求められる状況に加え、18歳人口の減少、入学者の多様化や国際化、ICT化、大学間競争など、これまで以上にスピード感のある改革が必要となっています。このような状況を踏まえ、本学では教育・研究の質的向上を最優先に、令和元（平成31）年度から令和10年度までを期間とする中長期経営計画を策定し、以下のとおり経営戦略目標を設定しました。

【大学 中長期経営計画 経営戦略目標】

1 質保証システムの確立

学修者本位の教育実現の観点で、教学マネジメントを確立し、教育の質的転換と付加価値の向上を推進する。結果を重視し、教育成果を実証的に表現する。

2 教育・研究の高度化、先鋭化と拡張

より高い創造的能力とより深い社会的視座を育成するための独自の取り組みを推進する。芸術分野と様々な社会テーマの交点を捉え、特色ある今日的芸術研究を推進し、教育に反映していく。

3 「就職に強い芸術大学」の評価確立

就職を希望する学生が、高い確率で就職できるシステムを盤石にし、その社会的評価を確立する。

4 グローバル化、多様化の推進と対応

大学進学18歳人口の減少を踏まえて、多様性を受け入れるシステムを構築し、多様なニーズに対応できる体制を整備する。

5 卒業生との連携強化

卒業生との親密な交流を推進すると共に、相互的利益を図るネットワークを形成する。

6 地域連携の深化

地方創生への貢献を具体化し、地域における存在感を向上する。全国区の芸大でありながら地域拠点でもあるハイブリッドな役割を果たし、独自のポジションを確立する。

7 財務体質強化と体制整備

永続的な大学発展のために、財務体質の強化を図りつつ、大学運営の将来を担う組織体制を整備推進する。

同計画の2年目である当年度は、学校法人京都成安学園創立100周年の記念すべき年度でもあります。本法人の歴史や伝統を継承している唯一の高等教育機関として、これまでの100年間の軌跡を振り返り、旧設置校も含めた卒業生との繋がりを強化し、改めて本学の価値を再認識する時期であります。そして、新たな歴史を創造することで、本学の存在意義を学内外にアピールし、ブランド力を向上させる絶好の機会となります。

また、令和2年度より、私立学校法が改正され、中長期計画や単年度事業計画の策定にあたっては、直近の認証評価を踏まえることが義務付けられます。本学においては、従前より同結果に基づいて、各年度の事業計画を策定しておりますが、改めてその結果を再確認する必要があります。

以上のことから、当年度事業計画は、平成 27 年度に受審した大学機関別認証評価の結果※を踏まえて取り組んできたこれまでの事業の評価及び検証に基づき、中長期経営計画の到達目標の達成に向けた事業並びに学校法人京都成安学園創立 100 周年記念事業を中心に、以下のとおり策定しました。

※直近の認証評価では、改善を要する点及び参考意見はなかった。

【A】中長期経営計画に関する事業

1 質保証システムの確立

- (1) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）を検証する。
- (2) ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）の3つのポリシーの一貫性を検証する。
- (3) 3つのポリシーとアセスメント・ポリシー（学修成果の評価方針）との関連性を検証する。
- (4) 学修成果の可視化の取り組みとして、卒業研究における学部共通のシラバスを整備し、その成果の発表の場である卒業制作展の在り方を検証する。
- (5) 自己点検・評価の信憑性や妥当性を高め、客観性・適切性を確保するため、外部評価委員会（仮称）を設置し、有識者による外部評価を実施する。
- (6) 教育情報の収集・蓄積・分析など教育改善に必要な教学 IR 活動の強化に向け、新たな基幹システム（学事システム）及び学修成果可視化システムの来年度からの導入に向けて準備を図る。
- (7) 修学支援新制度（高等教育無償化）の本格的なスタートにあたり、煩雑化が予想される事務手続きを円滑に行うための事務フローを整備する。
- (8) 祝祭日の増加に伴う授業日数の減少や早期の卒業制作展の開催などにより学事日程が過密化しているため、令和 3 年度からの運用に向け、1 コマの時間数及び授業回数を見直す。

2 教育・研究の高度化、先鋭化と拡張

- (1) 学内の Wi-Fi 環境の改善及び新たな基幹システム（学事システム）等の導入に向け、通信インフラを整備する。
- (2) 前年度に実施したクリエイティブサポートの検証結果を踏まえ、改善方策を立案した上で、運営体制や設備等の充実を図る。
- (3) 未来社会デザイン共創機構（仮称）の設立準備を行う。
- (4) 主体的共同研究や受託研究を創出するために、本学に所属する研究者における研究分野やこれまでの研究等実績を分かりやすく取りまとめた成安シーズデータ（仮称）を作成し、学内外へ発信する。
- (5) 再整備した特別研究助成制度の運用を図る。
- (6) イラストレーション分野研究のブランディングに向けた取り組みを推進する。
- (7) 附属近江学研究所における研究体制を強化した上で、今後の研究テーマを決定する。

3 「就職に強い芸術大学」の評価確立

- (1) 対就職希望者就職率 90%以上を目標に、領域毎に新たにキャリアサポート担当教員を配置し、キャリアサポートセンターとの情報共有の強化を図るとともに、教職協働による全学的なキャリアサポート体制を構築するために、キャリアサポートをテーマとする FD 研修会を開催する。

- (2) 企業の採用スケジュールの早期化に備え、キャリアデザイン科目において、就職活動に役立つ実践的内容を3年次の前期に設定するなど、授業計画を見直す。
- (3) 学生のキャリアデザインに対する意識を早期から高めるため、1年次からインターンシップへ参加できるように、その受け入れ先企業の開拓を図る。
- (4) 包括協定を締結している滋賀県中小企業団体中央会と連携し、県内の地場産業やものづくり企業を学内に招いて合同企業説明会を開催し、学生と地元企業とのマッチングの機会を強化する。

4 グローバル化、多様化の推進と対応

- (1) 増加傾向にある外国人留学生の支援策として、卒業後に日本で就職を希望する学生に対して、独自の就活ガイダンスやサポート講座を実施する。
- (2) 外国人留学生における日本語能力の向上策として、日本語科目について、日本語能力試験に合わせた内容から日常会話などに特化した内容に変更した上で、日本語能力試験の合格を目的とした講座を正課外で設置することを検討し、次年度からの導入に向け、準備を図る。
- (3) 教育連携について、高校生等の進学を意識した新たなプログラムを開発するとともに、小中学生を対象に芸術分野の裾野を広げる体験プログラムや、幼小中高などで教鞭をとる教員を対象として授業で役立つものづくりプログラムなどを開発する。
- (4) SDの一環として、障がいのある学生の現状把握と対応方法について、ワークショップ形式で研修会を開催し、教職員間の情報共有を図るとともに、県内の障がい者支援団体との連携を強化し、支援方を企画する。
- (5) バリアフリーについて、前年度の同検討委員会の報告を踏まえ、多目的トイレの増設、トイレの洋式化、2階以上ある建物におけるエレベーターの設置等バリアフリーに必要な施設改修計画を立案し、可能な改修から着工するとともに、SD研修でのテーマ化や学内ボランティアの育成など、ソフト・ハード両面で推進する。
- (6) 学生相談室や保健室、フリールームなどの支援施設の再整備を企画する。
- (7) 前年度に実施した休退学者の分析結果を踏まえ、復学した学生が再度休学もしくは退学となることを抑制するために、授業欠席後の連絡や面談、事務局と領域との情報共有など復学後の支援を強化するとともに、その他の予防策を企画する。

5 卒業生との連携強化

- (1) 令和元年度よりスタートしたウェブコンテンツ「SEIANOTE」において、紹介する卒業生の人数を増やして充実を図るとともに、その他様々なメディアを通して、卒業生の活躍を積極的に発信する。
- (2) 卒業生子女を対象とした授業料減免制度や、キャンパスが美術館における卒業生にスポットを当てた企画展の開催、就活サポートなど、これまで実行してきた同窓会（卒業生）との連携事業を検証しつつ、新たにオープンキャンパスにおける地方からの動員バスの添乗ガイドとして協力を仰ぐなど、募集対策事業におけるサポート体制を構築する。
- (3) 新たな基幹システム（学事システム）の導入に関わり、同システムに付加される卒業生情報管理システム（仮称）の導入に向けて準備を図る。

6 地域連携の深化

- (1) 平成30年度に設置した地域実践領域について、領域独自の授業である長期インターンシップなどこれまでの取り組みを検証した上で、来年度が初めてとなる卒業研究における成果発表の在り方などを企画する。
- (2) 地元の企業を中心に企業訪問を強化するとともに、その訪問先や滋賀県中小企業団体中央会所属の企業を招き、企業と本学との交流を推進する機会として、本学の教育研究内容や学生の学

修成果などをプレゼンテーションする成安プレゼンツ（仮称）を開催する。

- (3) これまで地域連携事業として取り組んだプロジェクト科目等の教育研究の成果を、キャンパスが美術館において企画展示し、地域・社会へ積極的に発表する。

7 財務体質強化と体制整備

- (1) 令和3年度の入学者数240名（内、給付・特待生40名）の獲得に向け、募集広報活動を展開する。
- (2) 施設を有効に資産活用するため、校舎・運動場等使用規程を見直した上、学外へ情報発信を行い、外部機関への貸出を促進する。
- (3) 教育職員自己点検・評価制度を見直す。
- (4) 修学支援新制度（高等教育無償化）のスタートに伴い、給付奨学生の奨学金に対する私立大学等経常費補助金の削減もしくは不交付に備え、新たな奨学金制度などの整備に向けた準備を図る。
- (5) 基幹システム（学事システム）や学修成果可視化システムの導入、通信インフラの整備、バリアフリー化に関わり、外部資金（補助金）の調査・研究を行い、獲得を目指すとともに、外郭団体を中心に同事業に対する特別寄付の依頼を行う。

【B】学校法人京都成安学園創立100周年記念事業

学校法人京都成安学園創立100周年記念事業は、本学園のこれまでの100年の軌跡を振り返り、改めてその価値を再認識した上で、新たな価値を生み出すとともに、これからの100年を創造するための起点とすることを目的としており、本学では、その目的の達成に向け、以下の事業に取り組む。

1 クリエイティブキャンパス計画の推進

創造性豊かな人材（クリエイティブ人材）を育成するのに相応しい創造的で刺激に満ち溢れ、開かれたキャンパスとなるよう、以下の計画を推進する。

(1) 作品設置

在学生や卒業生、教職員からの多数の応募作品の中から、採用となった作品を複数点設置する。また、コミッションワークによる作品も併せて設置する。

- ・設置時期：令和2年4月～令和3年12月（予定）
- ・設置場所：成安造形大学 キャンパス内各所

(2) 新棟の建設

授業をはじめ、500名規模のイベント、大規模な展覧会の開催などが可能な多目的ホールをメインに、学生会室や学園歴史資料の展示スペースなどを完備した新棟を建設する。

- ・着工時期：令和2年12月（予定）
- ・竣工時期：令和3年12月（予定）

(3) エントランスの再整備

スクールバスの往来をスムーズにするため、車両の出入口を分岐した上で乗降場所の位置を変更し、安全面を確保するとともに、開放的で魅力的なエントランスに再整備する。

- ・着工時期：令和3年2月（予定）
- ・竣工時期：令和3年4月（予定）

2 成安ホームカミングデーの開催

100年の歴史を支える在学生や卒業生、教職員の交流機会として、成安ホームカミングデーを開催する。

- ・開催日：令和2年10月24日（土）
- ・場所：成安造形大学 キャンパス内

3 記念展覧会等の開催

キャンパス内を回遊して観覧するキャンパスが美術館において、学校法人京都成安学園創立100周年を記念して、卒業生や学園関係者などによる記念展覧会を夏と秋の2期で開催する。また、関連企画として、令和2年2月に開催した卒業制作展の選抜作品展、学園教職員のOBOG会である聚英会の企画展を開催する。

- ・2020 夏の芸術月間 セイアンアーツアテンション 13「歩く絵画（仮題）」（7月10日～8月1日）
- ・2020 秋の芸術月間 セイアンアーツアテンション 14「家をする／家になる（仮題）」（10月23日～11月14日）
- ・SELECTION 卒業制作展 2020Plus（4月）、聚英会企画展（5月）

【C】経常的な事業

1 教学関連

- 4月 入学式（1日）、新入生ガイダンス（2日～8日）、前期授業開始（11日）
- 5月 教職課程教育実習（～6月頃）
- 6月 防災避難訓練（12日）
- 8月 前期授業終了（4日）、前期保留該当者試験（24日）、学芸員課程博物館実習
集中講義期間（17日～21日、24日～28日、31日～9月4日）
- 9月 在学生ガイダンス、大学祭（12日・13日）、前期卒業証書・学位記授与式（15日）
後期授業開始（19日）
- 1月 後期授業終了（25日）、卒業制作展（26日～31日）
- 2月 後期集中講義期間（1日～5日、8日～12日、15日～19日）、教員免許状一括申請
- 3月 卒業証書・学位記授与式（12日）、在学生ガイダンス（22日～26日）

2 キャリアサポート関連

- (1) キャリアデザイン科目
 - ①前期：キャリアデザイン概論1、就業力育成演習A・C、就業力育成論3・4、インターンシップA・B
 - ②後期：キャリアデザイン概論2、就業力育成演習B・D、就業力育成論1・2
- (2) 主なサポート講座
ポートフォリオ講座（9・10月）、履歴書の書き方（5・10月）、就職模擬試験（通年）、メイク講座（11月）
- (3) 主なイベント
業界研究会（11月）、合同会社説明会（通期）、卒業生就職先訪問バスツアー（8月）

3 入学者選抜試験

予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされ、国策として、高大接続改革が推進されている状況を踏まえ、本学においては、アドミッションポリシーを見直した上で、学力の3要素を確実に評価する入学者選抜試験を以下のとおり実施する。

①総合選抜型入試

- 1期 体験授業型 9月5日(土)、給付奨学生選抜・面接型 9月6日(日)
- 2期 体験授業型 10月3日(土)
- 3期 面接型 11月8日(日)
- 4期 給付奨学生選抜・特待生選抜・実技型 11月21日(土)
- 5期 面接型 12月6日(日)

②学校推薦型選抜入試 11月8日(日)

③特別選抜入試 前期 12月6日(日)、後期 2月7日(日)

④一般選抜入試 ※大学共通テストの実施日は、1月16日(土)・17日(日)

- 1期 面接型・実技型 2月7日(日)、給付奨学生選抜・大学共通テスト利用型
- 2期 面接型・実技型 2月23日(火)、大学共通テスト利用型
- 3期 大学共通テスト利用型

⑤3年次編入試 前期 12月6日(日)、後期 2月7日(日)

4 募集対策関連

(1) オープンキャンパス 6月7日(日) ②7月26日(日)

(2) ツアー型オープンキャンパス(仮称) 3月21日(日)

(3) SEIAN WATCHING(大学見学会) ※基本は日曜日開催。但し、8月23日と9月12日は土曜日。

- ① 4月26日 ② 5月17日 ③ 7月12日 ④ 8月01日 ⑤ 8月23日
- ⑥ 9月12日・13日 ⑦10月11日 ⑧11月15日 ⑨12月13日 ⑩ 2月14日

(4) その他の募集対策事業

- ①卒展 WATCHING(卒業制作展見学会) ※日程は未定。
- ②体験授業型イベント: 8月2日(日)
- ③成安デッサン模試: 3月14日(土)

5 研究・地域連携関連

(1) 附属近江学研究所

- ①公開講座・・・5月23日(土)、6月20日(土)、7月18日(土)
- ②写生会・・・5月30日(土)、10月3日(土)
- ③会員限定講座・・・6月27日(土)、7月11日(土)、9月26日(土)、11月28日(土)、12月19日(土)
- ④現地研修会・・・10月17日(土)
- ⑤文化誌「近江学」第13号発刊

(2) 受託連携事業(2月20日現在)

- ①前期プロジェクト(4月～9月)
 - ・おもちゃのワークショップ(大津市歴史博物館)
- ②通期プロジェクト(4月～3月)
 - ・滋賀の未来カード制作(滋賀県)
 - ・イベントPRデザイン(滋賀県国民健康保険団体連合会ほか)
 - ・光のアートプロジェクト(琵琶湖汽船)
 - ・谷本勇氏作品デジタルデータ化(大津市)

(3) 研究費事業

- ①特別研究助成
 - ・募集期間:4月1日(水)～5月15日(金)・採択日:6月中旬・採択数:1～3件程度
- ②科学研究費
 - ・採択済:「里山における自然資本の意識化とネットワークのための地域参加研究」(平成30年～令和2年)
 - ・申請中:4件

(4) 教員免許状更新講習

8月4日(火)から7日(金)の4日間で、「写真・教育現場での活用と表現指導」「綿棒を使った立体造形」など、6講習(延べ定員145名)を実施する。

(5) キャンパスが美術館の主な企画展 ※学校法人京都成安学園創立100周年記念展覧会は別掲

- ①景風趣情・・・6月5日(金)～20日(土)
- ②JAGDA2020展・・・9月7日(月)～26日(土)

6 質保証関連

- 4月 PROGテスト(新入生対象)、令和元年度対象自己点検・評価(～6月)
- 5月 PROG解説会
- 6月 第1回FD研修会(予定)
- 7月 前期授業評価アンケート
- 10月 第2回FD研修会(予定)
- 3月 学修成果アンケート(卒業生対象)、後期授業評価アンケート

Ⅲ 成安幼稚園

【1】基本理念・教育の目的・教育目標

1 成安幼稚園の基本理念

豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる。

本園は、「子どもの生活は遊びながら…」が保育の基本であると考えています。偏った英才教育では、心は見失われてしまいます。

本園は、長い伝統を誇る京都成安学園の建学の精神「成安」、校訓「誠と熱」の信念を柱とし、遊びを中心とした総合的保育で、創造力の豊かな心と健やかな体を育てます。

本園は、現代社会に失われつつあるものを育てることが大切であると考えています。

2 成安幼稚園の教育の目的

- (1) 健康・安全で幸福な生活のために必要な基本的生活習慣を養うとともに、身体諸機能の調和と発達を図る。
- (2) 集団生活を経験し、協調性、自立及び自律の精神の芽生えを養う。
- (3) 社会の様々なものごとに対し、正しい理解と態度の芽生えを養う。
- (4) 人との関わりの中で、意思伝達能力を養い、信頼関係を築く。
- (5) 経験をとおして感性を育て、創造力を豊かにし表現する力を養う。

3 成安幼稚園の教育目標

一人ひとりの子どもを大切にして、基本理念に基づいた保育を行い、心豊かな子どもに育てます。

【2】事業計画

令和元年10月より「幼児教育・保育の無償化」がスタートしました。限りある国の予算が子育て世帯に充てられていることにより、社会から大きな注目を集めています。この制度は子育て世帯の経済負担を軽減し、少子化の進行を抑制するとともに今以上に多様化していく社会の中で、子どもたち一人ひとりが自分らしく活躍できる大人に育ててほしいという願いが込められています。

これからの未来は、AIやIoTの進歩によって大きく変革していきます。こうした多様化していく社会の中では、ロボットにはない探究力や想像力、情操や道徳といった人間ならではの力がより一層求められます。そして、この力の土台を育てているのが幼児教育です。

平成30年に文部科学省が示した幼稚園教育要領の新しい指針には、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」として、目に見えない力（非認知能力）を育てる事の重要性を表しています。基本理念「豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる」に基づき、教育内容の充実と教育職員の教育力向上に努めていきたいと思っております。

【幼稚園 中長期経営計画】

- 1 社会に対する基本姿勢
- 2 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報発信
- 3 保育教育の質の向上
- 4 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画
- 5 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立
- 6 安全で快適な保育環境の整備
- 7 学園創立 100 周年・幼稚園開園 90 周年記念事業の推進
- 8 コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立

【事業計画】

- 1 社会に対する基本姿勢【中長期経営計画】
保護者の社会活動への参加をサポートするため、預かり保育を継続して実施する。
- 2 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報発信【中長期経営計画】
本園の活動状況に関する情報を正確かつタイムリーにホームページ等をとおして発信することで、保護者をはじめ広く社会に対して本園についての理解を促す。
- 3 保育教育の質の向上【中長期経営計画】
 - (1) 併設校である成安造形大学との連携による特色ある教育活動の展開
教育職員の感性を養うための研修の実施、園児に対する絵画指導に関する方法論の指導助言等について、大学の協力を得る体制を構築する。
 - (2) 教育内容の充実
 - ・「考える力」「創造する力や興味」を育てるために教員の研修会の充実を図る。
 - ・令和 2 年度から「教務主任」を新たに登用することにより、教育職員の指導を徹底させ、均一な教育ができるよう、また、文部科学省の指針に沿うよう、教育の質を向上させる。
- 4 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画【中長期経営計画】
 - (1) 教頭・教務主任による人材育成の強化
新規採用教育職員をはじめ経験の浅い教育職員の指導育成を徹底することにより保育の向上を目指すとともに、中堅の教育職員を幼稚園運営の強い戦力とするべく全体的な底上げを目指す。
- 5 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立【中長期経営計画】
 - (1) 入園者の確保に関する取り組み
J R 桂川駅の看板広告を令和 2 年 3 月に復活させたが、これに加えてイオンシネマにて幼稚園の広報 PR 活動を行うことなどにより、園児総数 225 名を目指す。
 - ・夏休み・冬休み前の子ども向け映画の公開に合わせたスクリーンへのメッセージ掲示
 - ・募集活動として未入園児へ公開イベントの実施：令和 2 年 6 月 8 日（月）移動動物園
 - ・令和 3 年度園児募集 入園説明会：令和 2 年 9 月 9 日（水）・12 日（土）の 2 回開催予定

(2) 消費税値上げに伴う保育料の改定を令和元年度は見送ったため、令和3年度に向けてその準備に入る。

6 安全で快適な保育環境の整備【中長期経営計画】

7 学園創立100周年・幼稚園開園90周年記念事業の推進【中長期経営計画】

(1) 学校法人京都成安学園創立100周年・成安幼稚園開園90周年記念事業

・遊戯棟、第2保育棟、第3保育棟を解体撤去し、新園舎を建設する。

・新園舎完成後、第2保育棟の取り壊しの際に「思い出ペイント」イベントを開催する。

令和3年3月20日（土）予定

(2) 遊戯棟等建替工事中の園児の安全の確保と快適な環境の整備に努める。

8 コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立【中長期経営計画】

園長をはじめとする職制が一丸となり、コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化に取り組む。

【経常的な事業】

令和2年4月13日（月） 始業式

令和2年4月14日（火） 入園式

令和3年3月12日（金） 卒園式

令和3年3月15日（月） 修了式

【令和2年3月28日 第179回理事会決議】